

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数 下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数

1. 定点把握対象疾患の発生動向

*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症

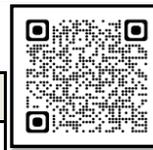
令和7年5月16日 発行

疾病	疫学週			
	16週	17週	18週	19週
	4月14日～4月20日	4月21日～4月27日	4月28日～5月4日	5月5日～5月11日
急性呼吸器感染症(ARI) <small>イル新症急 ンス型へ性 フ感コA呼 ル染口R吸 工症ナI器 ンウ感 ザイ染</small>	700 140.00	689 137.80	662 132.40	570 114.00
	18 3.60	12 2.40	4 0.80	2 0.40
	10 2.00	9 1.80	7 1.40	1 0.20
小児科定点	1 0.33			
	4 1.33			1 0.33
	7 2.33	10 3.33	11 3.67	11 3.67
	15 5.00	16 5.33	20 6.67	9 3.00
			1 0.33	
	2 0.67	6 2.00	13 4.33	3 1.00
	1 0.33	3 1.00	2 0.67	2 0.67
	1 0.33	1 0.33		
	眼科定点			
基幹定点				1 1.00
	1 1.00	1 1.00	1 1.00	
拡張疾患	1		1	1
	1			

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原管内の過去2週間における保健所対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			



↑
感染症情報は
こちら



↑
感染症予防啓発物品
の貸出しはこちら



↑
性感染症検査の
申込みはこちら

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【 定点把握対象疾患の発生動向】※栗原管内を含む大崎管内

- 急性呼吸器感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、突発性発しん、流行性角膜炎、マイコプラズマ肺炎が発生しています。
- 伝染性紅斑は県全体では7週連続して定点当たりの患者報告数が増加しています。

【 感染症コラム～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～】

- A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる細菌性急性咽頭炎(溶連菌)で、冬季および春から初夏にかけてと2つの時期に流行がみられます。
- どの年齢でも発症しますが、学童期の小児に最も多くみられます。
- 突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、口蓋の小点状出血あるいは舌苔がみられることがあります。
- 主な感染経路は飛沫・接触感染です。接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くなっています。
- 予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要です。うがい、手洗いなどの一般的な予防に努めましょう。

【 集団発生状況】※栗原管内

- 新たな集団発生はありません。

【お知らせ】

- 県全体で百日咳の報告が増加傾向です。引き続き感染対策を徹底してください。
- 海外渡航者に対する感染症予防啓発について、情報提供します。
- 厚生労働省検疫所ホームページ FORTH

